

統合教育について

北海道文教大学

准教授 鈴木重男

目次

- ① 障害者の権利に関する条約
- ② 韓国の統合教育
- ③ 日本の統合教育実践例
- ④ 統合教育と家庭教育

① 障害者の権利に関する条約

障害者の権利条約

- ①2006年12月に採択された「国連障害者の権利条約」は、2006年12月に採択
- ②障害のある人の基本的人権を促進・保護すること、固有の尊厳の尊重を促進することを 目的とする国際的原則
- ③2008年4月3日、批准国20カ国に達し、30日後の5月3日、障害者の権利条約は発効

第24条 教育

1 締約国は、教育についての障害者の権利を認める。締約国は、この権利を差別なしに、かつ、機会の均等を基礎として実現するため、次のことを目的とするあらゆる段階における障害者を包容する教育制度 (*inclusive education system*) 及び生涯学習を確保する。

障害者の権利に関する条約における「合理的配慮」

(1) 障害者の権利に関する条約「第24条 教育」においては、教育についての障害者の権利を認め、この権利を差別なしに、かつ、機会の均等を基礎として実現するため、「個人に必要とされる**合理的配慮**が提供されること。」を位置付けている。

(2) 同条約「第2条 定義」においては、「**合理的配慮**」とは、「障害者が他の者と平等にすべての人権及び基本的自由を享有し、又は行使することを確保するための必要かつ適当な変更及び調整であって、特定の場合において必要とされるものであり、かつ、均衡を失した又は過度の負担を課さないものをいう。」と定義されている。

「合理的配慮」の提供として考えられる事項 日本では、教育については次のように考えられている。

- (1) 「合理的配慮」として以下のことが考えられる。
 - (ア) 教員、支援員等の確保
 - (イ) 施設・設備の整備
 - (ウ) 個別の教育支援計画や個別の指導計画に対応した柔軟な教育課程の編成や教材等の配慮
- (2) 「合理的配慮」は、特別支援学校等で行われている各障害等に
応じた施設設備・教育内容方法への配慮を参考とする。
- (3) 「合理的配慮」について条約にいう、「均衡を失した又は過度の
負担を課さないもの」についての考慮事項としては、例えば、児
童生徒一人一人の障害の状態及び教育的ニーズ、学校の状況、
地域の状況、体制面、財政面等からみて、障害のないものへの
教育と比較して、極端に逸脱しない内容等を考えている。

学年	教科書 番号	書名	分冊数・頁数 文字ポイント／判型	字体	定価
1	数学 722	大日本図書 中学校拡大教材 数学の世界 1年	4冊／1,420頁／18P／A5 (通常／リング製本版)	丸ゴシック	¥261,979
			4冊／1,420頁／22P／B5 (通常／リング製本版)		
			4冊／1,420頁／26P／A4 (通常／リング製本版)		
2	数学 822	大日本図書 中学校拡大教材 数学の世界 2年	4冊／1,172頁／18P／A5 (通常／リング製本版)	丸ゴシック	¥200,937
			4冊／1,172頁／22P／B5 (通常／リング製本版)		
			4冊／1,172頁／26P／A4 (通常／リング製本版)		

2012年度 教科書発行者の価格 中学校数学

② 韓国の統合教育

統合教育モデル的対応

韓国(2008年度施行)「障害者等に対する特殊教育法」
第2条(定義)6.“統合教育”とは、特殊教育対象者が一般学校において、障害種別・障害程度により、差別を受けることなく同世代の者とともに、**個々人の教育的要求に適合した教育を受けることをいう。**

障害のない子どもには思いやりの心
障害のある子どもには自尊の心

論理的教科
数学・理科等

労働体験
奉仕的労働

体験的教科等
体育・音楽等

重い

障害の程度・状況

軽い

韓国「障害者等に関する特殊教育法」

第3章特殊教育対象者選定および学校配置など 第17条(特殊教育対象者の配置および教育)

①教育長または教育委員長は第15条により特殊教育対象者選ばれた者を該当特殊教育運用委員会の審査を経て、次の各項のどれか一つに配置して、教育しなければならない。

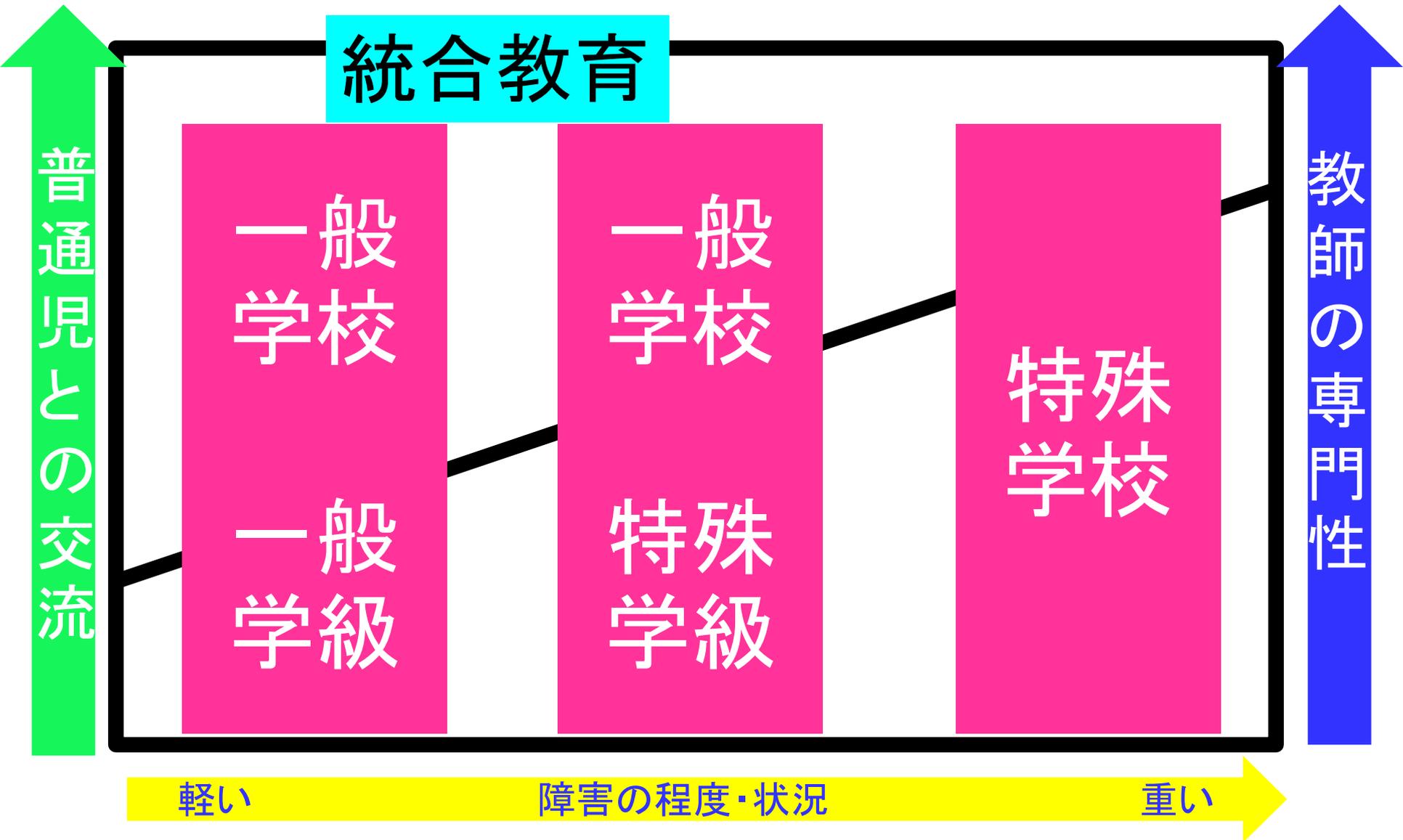
1. 一般学校の一般学級
2. 一般学校の特殊学級

統合教育

3. 特殊学校

②教育長または教育委員長は第1項により特殊教育対象者を配置する時には特殊教育対象者の障害程度、能力、保護者の意見などを総合的に判断して、居住地で最も近い所に配置しなければならない。

保護者の皆様方が選択する配置の場と専門性のモデル



③ 日本の統合教育実践例

教育

「体育は苦手だけど、英語と数学はおもしろくて」——全盲生徒として、初めて普通高校への入学を果たした、札幌市西区琴似八軒の私立北星学園男子高校（松田平太郎校長）一年、岩間勝美君（一五）札幌盲学校出身が、元氣よく高校生活を送っている。当初、予想された様々な問題は、関係者の温かい協力で、ほとんどが解決された。岩間君の普通高校への順応ぶりは、盲人というだけで、普通教育への門を閉ざしてきた、今の教育制度に大きな疑問を投げかけている。

訳しにくい漢字が多いからだ。だが、岩間君の普通高校での生活が、このように円滑に進むには関係者の隠された努力があった。

また、岩間君の教科書、試験問題の点字化、点字板の使いやすい学習機の整備などが、点字翻訳のできる神田先生、外部の各奉仕団体の手によって続けられた。神田先生は「みんなの協力がなかったら、彼のスタートはつまずいたかもしれない」という。

岩間君のこれまでの生活を見守ってきた鈴木先生は「まだまだ、これからだ。授業内容が高度になるにつれ、いろいろ支障がでてくるかもしれない。でも、全盲は普通高校へいけない、という教育制

入学後1年間は、学校のすぐ側にアパートを借りて、盲学校のS先生と自炊生活をしながら通学していました。正直、どうしてこんな生活をしなければならぬのか、幸いと感じたことも何度かありました。でも、この1年間の生活が、じつはその後の私の自立に大きくプラスになっていたことは間違いありません。社会に出た今も同じです。これは、おそらくS先生の、私に対する先を見据えた試みであったと理解しています。

残りの2年間は下宿をしながら、汽車通をしました。盲学校時代から含めて、交通機関を利用した通学は初めてのけいけんです。汽車の乗り降りなど、危険な面はありましたが、こちら歩行面での自立に大いにプラスとなりました。汽車通の最大のメリットは、クラス内外の多くの友達との交友関係が広まったことではないでしょうか。ときには、通学途中で悪い遊びをしたり、今では懐かしい思い出の一つとなっています。

私は、入学直後から卒業後の進路について考えなければなりません。三療以外の仕事に就くには、大学を卒業しなければならなかったからです。私は、受験による進学を目指すより、推薦による進学を選択するのが現実的と考え、定期試験の成績が一定レベルになるよう3年間努力し、高校ではトップの成績を維持して、北星学園大学に推薦で入学して、卒業後、日本赤十字社に就職することが出来ました。

④ 統合教育と家庭教育

[Mr. TUJII Nobuyuki](#)



家庭の力

音楽の
統合教育

家庭の協力で世界的なピアニストに

統合教育を成功させる 家庭の力 誉めて育てる : 自尊心を育てる



好ましい行動
→ 誉める

嫌な行動
→ 無視する



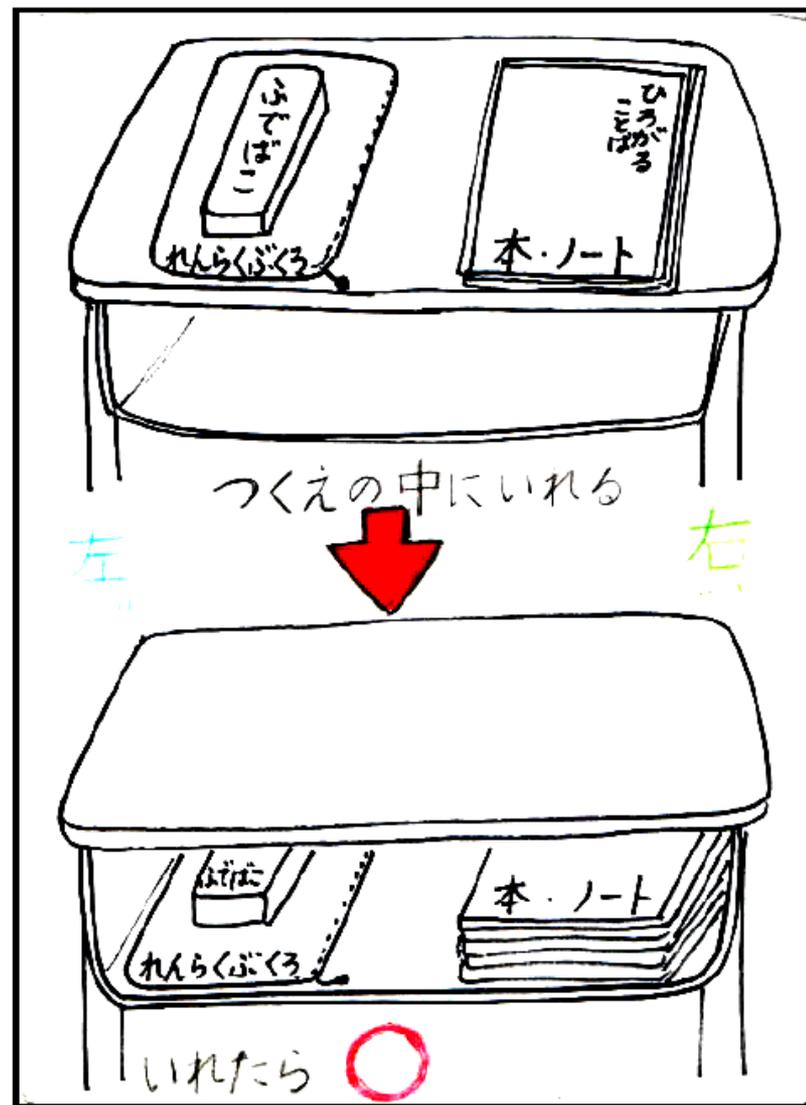
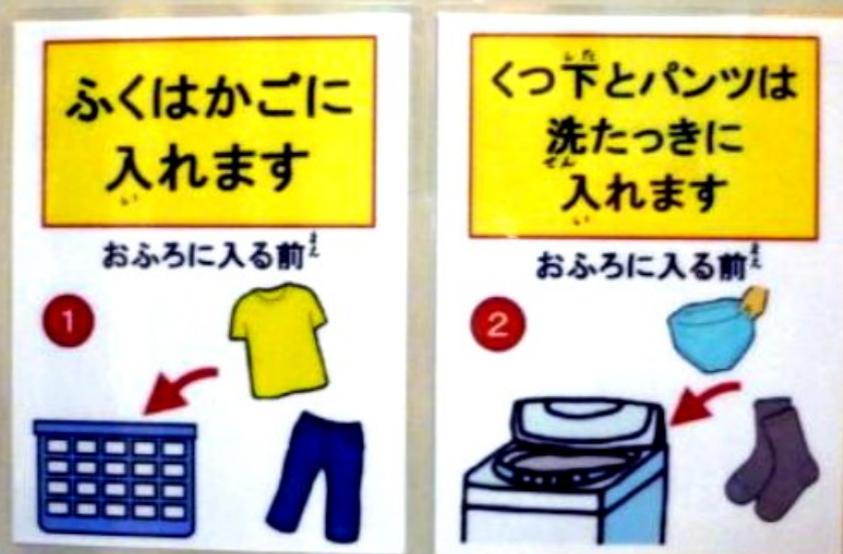
統合教育を成功させる 家庭の力
誉めて育てる : 自尊心を育てる

誉める工夫 = 叱らない工夫

- ① 視覚化
- ② スケジュールの明確化
- ③ 場所の明確化
- ④ 手順の明確化

『脱衣場所』の注意書き

出来たら → 誉める → 自尊心が高まる



① 視覚化

出来たら → 誉める → 自尊心が高まる



② スケジュールの明確化

2, 場所の構造化

「どこで何をするのか」を、見るだけで分かりやすくする。

出来たら → 誉める → 自尊心が高まる



← 玄関の足型

↓ 帰った時のランドセルの
置き場所



③ 場所の明確化



④手順の明確化

出来たら → 誉める → 自尊心が高まる

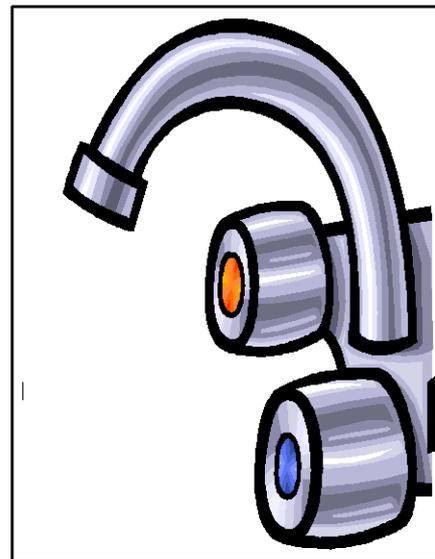
水をだす



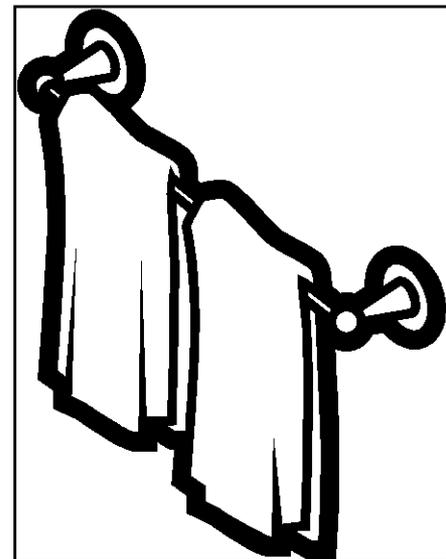
手を洗う



止める



タオルで手をふく

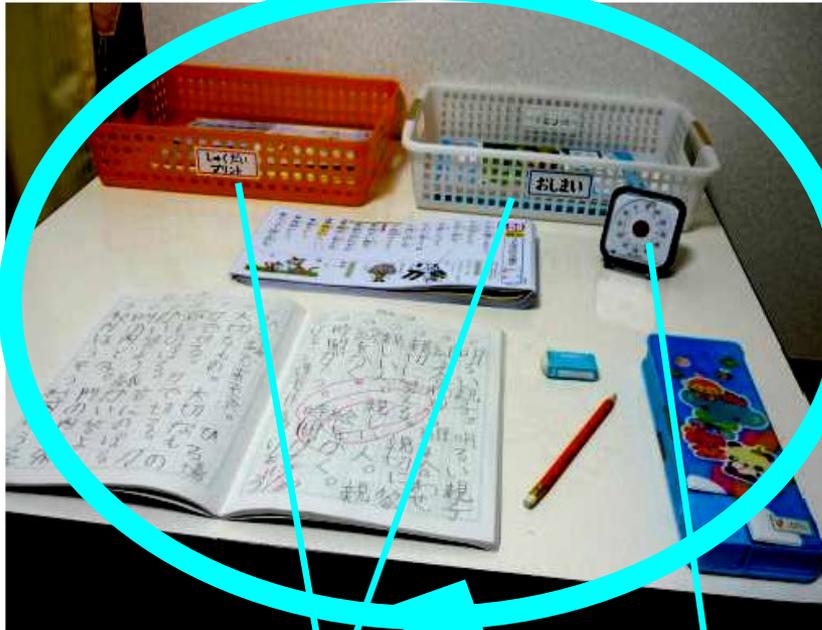


総合的な支援

『勉強部屋』のつくえ

出来たら → 誉める → 自尊心が高まる

終わったら『左から右』
の終了箱へ入れる



- ① 視覚化
- ② スケジュールの明確化
- ③ 場所の明確化
- ④ 手順の明確化



ほめる 教育



よし、良くやった!

やれば出来るよね



努力

自己評価が
高まる

夢に向かって
頑張るぞ!

自己有用感・
自尊感情の
高揚

夢・希望

やる気

聞き入れる
態度

さすがじゃ!





統合教育は、
家庭の協力が
大事です。

感謝